

平成28 年10月 25日

## 助成事業実施報告書

団体名.....自立援助ホーム つばさ  
代表者・役職名 氏名.....管理者 大野 朋美

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

自立援助ホームつばさの運営(備品の整備)

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

社会福祉法人アパティア福祉会 自立援助ホームつばさは平成22年4月より開設。当法人は三重県桑名市を拠点に、介護老人福祉施設、在宅介護サービスセンター、デイサービスセンター、障害者支援施設、乳児院、小規模児童養護施設、児童養護施設、児童心理療育施設などの社会福祉事業を行っております。アパティア福祉会の理念「すべての人を尊重し、共感をもって寄り添い、支えます。」を基本理念とし、活動しております。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

自立援助ホームに入所する児童は家庭の援助や公的な支援を受けられないまま、入所する児童が増えています。ホームでの生活をスタートする新たな気持ちがあったとしても、入所直ぐに必要な備品を揃えられない児童が増えています。寄付を受けたり、備品の貸出などを行っていますが十分とは言えない状況です。入所する児童の家庭での貧困、放棄、排除が原因と思われますが、本人の自立の為には少なからず、入所初期の生活を楽にする事が重要と考え、本プロジェクトを企画しました。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

様々な理由で社会へ出る事を余儀なくされ、家庭の事情などにより支援が受けられず、入所しても生活に必要な備品、日用品を揃える事ができていない、または、当座の生活資金を集めるので精いっぱいな児童が見られている。入所後の生活を安定させるためにも、ホームの備品の整備を行い、貸し出しが行えるようにし、収入が安定し、少しでも貯金にまわせるためにも、身の回りの備品の整備を行う。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

備品を揃える事ができ、各児童居室に入れる事ができました。今まで、ベッド一つしかなかった居室に本棚、衣類ケースが入り、テーブル、三段ボックスなど、入所直ぐに生活用品のみで生活のスタートが切れています。身の回りの片付け等、納める物が揃っていて、最低の生活がスタートだと実感しています。この間何人かの入所児童が見学に来た際も、生活のイメージが付きやすく、入所を決めた児童もおりました。生活の基本である家具がある事が当たり前の様ですが、自立の援助の基本である生活が出来る安心感の為に大変役立ちました。

#### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今回備品の整備を進める事ができ、明らかに居室の環境が変わりました。今までは段ボールのまま放置されていた衣類、居室の中に雑多に置かれていた本、書類等がありました。備品整備後、片付けが十分でないものの棚を利用したり、テーブルを利用したりしており、当たり前に思われるものが居室にある事、住む上での絶対的な環境が備わる事が、必要な事だと思いました。

今後、日常生活を行う上でのインケア、リービングケアの充実を行い、生活の質の向上に向けて指導をしていきたいと思っています。

#### 7. 参考資料

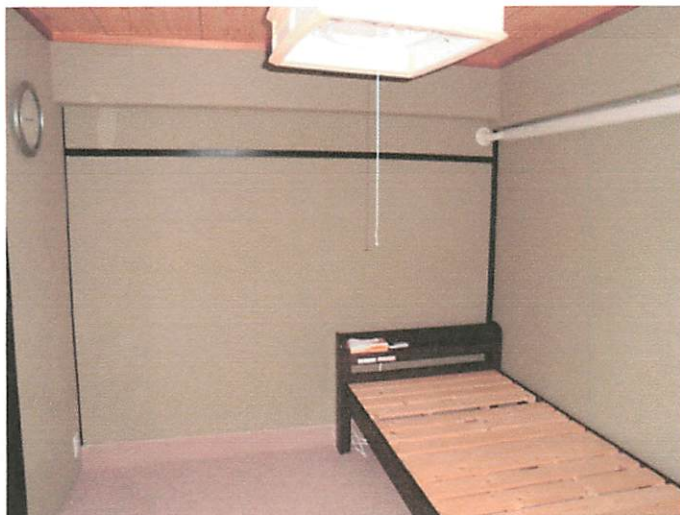
支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

助成プロジェクト名「自立援助ホームつばさの運営(備品の整備)」

活動写真

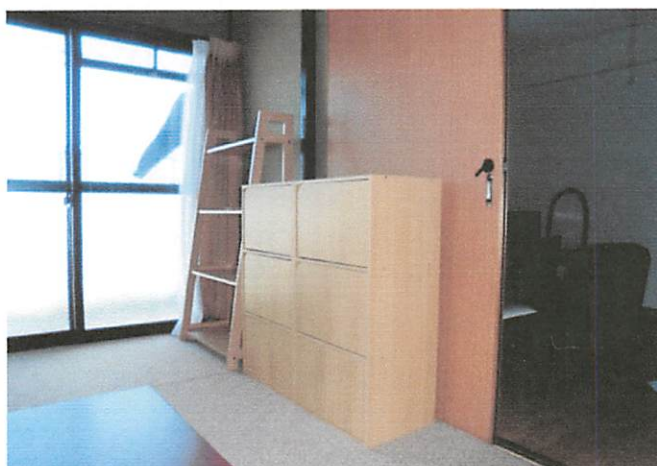
児童用居室(備品搬入前)



家具がなくベッドのみが置かれていた。

(プロジェクト前)

備品購入後



3段ボックス (中央)

本 棚 (3段ボックス左奥)

テーブル (左下)



A型ハンガーラック (時計下)

テーブル (中央)

3段ボックス (中央左)



マットレス（ベッドの上）の購入

マットレスがなく直接布団を敷いていた状態が改善。疲れを十分に癒している。

スノコ板購入（下段）

（以前は合板ベニヤ板を使用）

布団の通気が良くなり生活環境の改善が見られた。



自転車の購入（手前2台、1台通勤に使用中）

新入居者へに貸し出し(1台 3ヵ月を限度として利用中)

利用者のパンク対応として3人使用



布団の購入（中央）

入所者が布団の準備が出来ないとの事で、プロジェクトで購入した物を準備する事ができた。